平成 25 年 度

八代市議会総務委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 12月定例会付託案件	1
1. 所管事務調査	29

平成 25 年 12 月 12 日 (木曜日)

総務委員会会議録

平成25年12月12日 木曜日

午前10時00分開議

午後 0時13分開議（実時間127分）

委員 田中 安君

委員 中山 諭扶哉君

委員 橋本 幸一君

委員 矢本 善彦君

※欠席委員 君

○本日の会議に付した案件

1. 議案第120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号（関係分）
1. 議案第124号・指定管理者の指定について（八代市スポーツ・コミュニティ広場、八代市弓道場、八代市民球場、八代市民プール、八代市民球場、八代市総合体育館、八代市立武道館、八代市相撲場）
1. 議案第132号・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
1. 議案第133号・八代市振興センター条例の一部改正について
1. 議案第137号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正について
1. 議案第142号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
1. 議案第143号・八代市市税条例の一部改正について
1. 陳情第9号・八代地域公共交通における一般乗用旅客自動車運送事業の活用推進について
1. 所管事務調査
 - ・行財政の運営に関する諸問題の調査
 - ・総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査

○本日の会議に出席した者

委員長 福嶋 安徳君
副委員長 鈴木田 幸一君
委員 上村 哲三君
委員 島田 一巳君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

総務部長	木本 博明君
総務部次長	山田 忍君
人財育成課長	中 勇二君
文書統計課長	橋口 幸雄君
市民税課長	松本 秀美君
資産税課長	畑中 房一君
企画戦略部	
企画政策課長	丸山 智子君
行政改革課長	豊本 昌二君
市民協働部長	山本 道弘君
市民協働部次長	脇坂 裕君
いきいきスポーツ課長	稲本 俊一君
泉支所	
総務振興課長	橋本 和郎君

○記録担当書記

増田 智郁君

（午前10時00分 開会）

○委員長（福嶋安徳君） それでは、定刻となり、定足数に達しておりますので、ただいまから総務委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配付してあります付託表のとおりであります。

○議案第120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号（関係分）

○委員長（福嶋安徳君） 最初に、予算議案

の審査に入ります。

議案第120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

それでは、総務部から、歳入等及び歳出の第1款・議会費、第2款・総務費、第9款・教育費について一括して説明願います。

○総務部長（木本博明君） はい、委員長。

○委員長（福嶋安徳君） はい、木本総務部長。

○総務部長（木本博明君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

総務委員会に付託されました議案第120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号の歳入、それから総務委員会関係分の歳出につきまして山田総務部次長が、また、議案第124号の事件議案1件、そのほか議案第132号などの条例議案5件につきましてはそれぞれ関係課長が説明いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○総務部次長（山田 忍君） 委員長。

○委員長（福嶋安徳君） はい、山田総務部次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）総務部次長の山田でございます。よろしく申し上げます。それでは、座りまして説明いたします。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

○総務部次長（山田 忍君） それでは、こちらです。別冊となっております議案第120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号をお願いします。総務委員会付託分について御説明します。

まず、1ページをお願いします。

第1条です。歳入歳出予算の補正でございますが、歳入歳出それぞれ7930万円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ565億68

00万円としております。

次に、第2条で繰越明許費の補正を、第3条で債務負担行為の補正を、第4条で地方債の補正をしておりますが、内容につきましては5ページ、6ページの表で説明します。

それでは、5ページをお願いします。

第2表・繰越明許費補正では、本年度内の事業完了が見込めない事業について繰越限度額の設定の追加を行っております。

まず、款3・民生費、項2・児童福祉費の子ども・子育て支援システム導入委託で582万円の限度額設定を行っておりますが、これは平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度開始に伴うシステム導入で今回補正予算を計上しておりますが、国からの詳細な内容の通知がなく、本年度内の完了が見込めないことによるものでございます。

また、款9・教育費、項3・中学校費の第四中学校体育館改築事業で1588万1000円の限度額設定を行っておりますが、これは体育館本体の工事のおくれによりまして、屋外の附帯工事が本年度内に完了が見込めなくなったためによるものでございます。

第3表・債務負担行為補正では、5事業で、いずれも公共施設の指定管理に伴い、債務負担行為の設定を行うものでございます。

まず、サンライフ八代管理運営委託は、期間を平成26年度から30年度までの5年間、委託先は一般財団法人サンライフ八代とし、債務負担行為の限度額を5270万としております。

次に、八代市松中信彦スポーツミュージアム管理運営委託は、期間を平成26年度の1年間、委託先は九州総合サービス株式会社とし、債務負担行為の限度額を460万円としております。

次に、八代市さかもと温泉センター・坂本憩いの家・広域交流センターさかもと館管理運営委託は、期間を平成26年度から30年度までの5年間、委託先はさかもと温泉センター株式

会社とし、債務負担行為の限度額を1億8100万円としております。

次に、八代市ふれあいセンターいずみ・八代市農林産物流通加工施設管理運営委託は、期間を平成26年度から30年度までの5年間、委託先は株式会社いずみとし、債務負担行為の限度額を5660万円としております。

次に、八代市体育施設管理運営委託は、総合体育など8施設で、期間を平成26年度から28年度までの3年間、委託先はNPO法人八代市体育協会とし、債務負担行為の限度額を2億145万円としております。

次に、6ページの第4表・地方債補正では、追加と変更を行っておりますが、詳しい内容は11ページの歳入、款21・市債で説明します。なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、補正前と同じでございます。

続きまして、歳入を説明します。10ページをお願いします。10ページです。

まず、款10、項1、目1、節1・地方交付税で4868万1000円の減額をしておりますが、人件費の減額に伴う本補正予算の一般財源の調整でございます。

次に、款14・国庫支出金、項2・国庫補助金、目6・教育費国庫補助金、節4・幼稚園費補助金で30万円を計上しておりますが、これは公立、私立の幼稚園への就園を支援するための幼稚園就園奨励費補助金で、対象世帯数の増加に伴うものでございます。

次に、款15・県支出金、項2・県補助金、目2・民生費県補助金、節2・児童福祉補助金で582万円を計上しておりますが、これは平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の開始に伴う新制度への対応及び全国統合システムへの接続を行うためのシステム導入費を補助する子ども・子育て新制度電子システム構築等事業補助金でございます。

次に、同項、目4・農林水産業費県補助金、

節1・農業費補助金で376万1000円を計上しておりますが、これは中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において5年以上農業を続けることを約束した農業者に交付される中山間地域等直接支払制度交付金の176万1000円の増額と、地域の中心となる経営体への農地集積に対する農地の所有者に交付される戸別所得補償経営安定推進事業補助金200万円の増額でございます。

次に、11ページになりますが、款17、項1・寄附金、目3・教育費寄附金、節3・中学校費寄附金で100万円を計上しておりますが、NPO法人マイトリーからの第六中学校の楽器購入に対する寄附金でございます。

続きまして、款21、項1・市債、目1・総務債、節1・総務管理債で1億1500万円を計上しておりますが、これは医療部門を併設した複合福祉施設建築事業に無利子の貸し付けを行う地域総合整備資金貸付事業で、事業者の借り入れ総額の上限35%分の市債でございます。

次に、同項、目4・土木債、節1・道路橋梁債で210万円を計上しております。これは単県道路整備事業負担金の増額に伴う市債の増額でございます。

以上、今回補正の歳入合計7930万円の説明とします。

それでは、続きまして、歳出を説明します。

歳出の説明に入ります前に、まず、今回の補正予算における人件費の補正につきまして説明します。

本年度は、月例給、期末勤勉手当等の給与改定がございませんでしたので、補正の主な要因としましては、人事異動、退職者及び休職者、市町村職員共済組合負担金の率改定等の影響によるものでございます。

12ページをお願いします。

まず、款1・議会費でございます。項1、目1・議会費では、一般職10人分等で557万

20000円を減額しております。

次に、款2・総務費でございます。項1・総務管理費、目1・一般管理費では、特別職2人、一般職159人分で901万6000円を減額しております。

同項、目4・財産管理費では、一般職3人分で51万5000円を増額しております。

同項、目5・企画費で、1億1881万8000円を増額しております。

まず、肥薩おれんじ鉄道運行支援対策事業補助金381万8000円は、肥薩おれんじ鉄道を安定的に運行させるため、鉄道基盤の設備維持に係る費用について補助を行うもので、平成24年度分の肥薩おれんじ鉄道株式会社の決算承認を受け、その費用の負担割合について熊本、鹿児島両県の協議が整いましたことから、補正するものでございます。

また、地域総合整備資金貸付事業1億1500万円は、先ほど歳入で御説明しました複合福祉施設建築事業に貸し付けを行うものでございます。

同項、目7・交通防犯対策費では、一般職3人分で2人減っておりますので、1336万2000円を減額しております。

次に、13ページをお願いします。

同項、目8・人権啓発費では、一般職11人分で324万3000円を減額しております。

項の2・徴税费、目1・税務総務費では、一般職72人分で661万円を減額しております。

項3、目1・戸籍住民基本台帳費では、一般職30人分で2人減っておりますので、1375万6000円を減額しております。

次に、14ページをお願いします。

項4・選挙費、目1・選挙管理委員会費では、一般職6人分で98万9000円を増額しております。

項5・統計調査費、目1・統計調査総務費では、一般職3人分で251万8000円を減額

しております。

項6、目1・監査委員費では、特別職1人分、一般職5人分で123万5000円を減額しております。

次に、25ページをお願いします。25ページです。

款の9・教育費になります。うち市民協働部関係分を説明します。

項7・社会教育費、目3・文化施設費では、一般職7人分で115万4000円を減額しております。

同項、目6・文化財保護費では、一般職10人分で333万9000円を減額しております。

次に、26ページをお願いします。

項8・社会体育費、目1・社会体育総務費では、一般職5人分で53万円を増額しております。

同項、目3・社会体育施設費では、一般職5人分で2人減っておりますので、1336万円を減額しております。

以上、歳出の説明とします。

これで、平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号の当総務委員会付託分の説明といたします。御審議よろしくお願いいたします。

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上の部分について一括して質疑を行います。

○委員（田中 安君） 委員長。

○委員長（福嶋安徳君） はい、田中委員。

○委員（田中 安君） 肥薩おれんじ鉄道運行支援対策事業補助金として381万8000円というのが出ておりますけれども、きょうの新聞を見てみたら、鹿児島県のほうが運賃を値上げするというふうなことで、県のほうはどのような対応をするのかなということがわからないんですけども、そのあたりの説明をお願いしたいんですが。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 丸山課長。

○企画政策課長（丸山智子君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）企画政策課の丸山です。よろしくお願いたします。

本日の新聞のほうで掲載されておりました。議員御指摘のとおりでございますけれども、こちら来年度以降の支援の仕組みを鹿児島県のほうで考えられる中でですね、鹿児島県とされましては、県内全市町村に肥薩おれんじ鉄道支援を求める考えがあられるということで、そのためには利用者の負担も引き上げることが必要ではないかということで、運賃値上げのほうを検討されているということでございました。

運賃値上げを鹿児島県さんのほうが検討されているということは、情報といたしましては私も県を通じて知っておりましたけれども、まだ、熊本県側において、そういったことに対しましての正式な協議といったものは行われておりませんので、まだこの後、県のほうとしてですね、どういう対応をするかというのは、まだこれから未定ということでございます。

○委員（田中 安君） いいです。

○委員長（福嶋安徳君） いいですか。

○委員（田中 安君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） ほかにありませんか。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 上村委員。

○委員（上村哲三君） ちょっとここでは聞きにくい部分でもあつとばってん、債務負担行為についてですね、5ページの債務負担行為の部分で5つ出てますけど、これには民間事業者あり、NPOあり、それから第三セクターありですね。

で、一つは期間の問題ですね。契約期間の債務負担行為ということであろうと思いますが、この期間の考え方ですね、おのおの違う事業者、事業体であるということに対する。そういうものの指針というものはあるんですか。これはほ

かの委員会で恐らくやってるとは思うんですけどね。そういうのがあってやってるというふうに聞いてますか。例えば、第三セクターだったらこうこうこういうふうに、それから、民間事業者だったらこういうふうにと。ここには単年度もありますよね。松中信彦スポーツミュージアムの件ね。何らかの指針があって、こういう契約期間、それに対する債務負担行為というような形で。その場、その場、契約期間が過ぎたから、ここはこうします、今回はこうします、こうしますじゃなくてですよ。じゃないと、保証するもんだからですね、債務負担行為というのは事業の経営を。それに対しては、そういう話はあってるんでしょうか。

ここで、総務じゃちょっと聞きにくかなあとも思うんだけど、そういうのが全体的にしっかりした中でね、やっぱりあって、各ほかの委員会でも審議をされていかないと。そこで出ればいいんですけど、ここでは全然わかりませんのでね、そういうのがあるんだったらしっかり、ちょっとあるんだたら聞かせてくれればと思います。

○総務部次長（山田 忍君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、山田総務部次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。指定管理の委託期間につきましては、相手方の経営体云々ではなくて、当初、この指定管理者制度が導入時期には3年ということが一つの目安ということで導入いたしましたして、その後、更新に継ぐ際には、期間を3年から5年に延長をしたというような経緯がございます。ですから、指定管理を始めるときは3年、安定期に入ってきますと5年というような時期での期間の設定ということが、一応の大原則というようなことです。

ただ、今回1年というのがありますのは、これはセットでの指定管理委託ということになりますものですから、それで、松中信彦スポーツ

ミュージアムにつきましては、相手方のほうの指定管理の期間が残り1年ということもありました関係で、それに合わせてセットでのということで例外的に考えていただきまして、先ほど申しましたことが大原則ということでの大方の大原則というのはあります。

○委員（上村哲三君） ちょっとよかですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、上村委員。

○委員（上村哲三君） 入るときは3年、それから安定期は5年と。契約を更新するときには5年と。その安定期は何ですか。その事業体の安定期ということですか。そういうことでしょうか。いや、それが八代市に対してどうなんですか。そこんところをちょっとね、何かこう……。それだけを単純に聞いたらね、何か当たり前のごたるばってんですたい、ちょっと見方おかしかなという部分があるんで。

○行政改革課長（豊本昌二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、豊本課長。

○行政改革課長（豊本昌二君） はい。行政改革課、豊本でございます。

先ほどからの上村委員さんの御質問です。

まず、指定管理者制度に関する運用指針というのがございます。その中で、指定期間というのはですね、指針の中に明文化しておりまして、指定管理者を指定する期間は原則3年もしくは5年としということでしております。

そして、その設置目的や性格、それから新規参入の機会の確保、それから管理運営の安定や効率化等を含めてですね、それぞれの担当課で判断するというようにしておりますが、特に指定管理期間が長くなりますと有利になる部分、例えば、減価償却とか、それから機器のリース期間等というのがですね、安くなると、3年より5年のほうが安くなるということもございますので、そういったものも含めてですね、3年、5年ということで考えておりまして、それぞれの施設に応じたですね、対応をそれぞれの課で

とっておるところでございます。

以上です。

○委員長（福嶋安徳君） いいですか。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） ほかにありませんか。

○委員（鈴木田幸一君） 一つよかですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、鈴木田委員。

○委員（鈴木田幸一君） はい。12ページですが、交通防犯対策費ですね、これは今よく情報として聞いておるのが、非常に交通事故が多くなって、年寄りの方が亡くなるというふうな情報を得ているわけなんですけれども、こういった状況の中で1300万の減額がなされておりますが、これはどういったことでしょうかね。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中課長。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。人財育成課の中でございます。

そのこの費目につきましてはですね、25年の4月に係の組織の見直しを行いまして、交通安全防犯と、それまで防災関係がですね、一緒の係でございましたので、係員が多うございまして、その職員分を全てこの費目に含んでおりましたけども、防災の係が分かれたことによって、その職員分2名分をですね、この費目から移したことによる減でございます。

以上です。

○委員（鈴木田幸一君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、鈴木田委員。

○委員（鈴木田幸一君） 大体一般的に考えるのは、非常に交通事故で亡くなる方が多いという状況であるならば、いろんな中で増額というのを私たちは考えるわけなんですよ。減額だから、職員が行政内の人事改革によって2人減ったということでの減額だけっていうことで、今後の対策として何か考えてあつてですかね。いわゆる交通対策として、人間は減ったけれども、

同時に事故は多くなったということになんらばいかぬから、その辺のことの、いわゆる整合性ばしっかり保ってもらわんばいかぬと思うとですよね。

○市民協働部次長（脇坂 裕君） 委員長。

○委員長（福嶋安徳君） 脇坂次長。

○市民協働部次長（脇坂 裕君） はい。市民協働部の脇坂でございます。

交通安全対策に携わります職員の数は、今までどおり、減員はしておりません。同じ職員の数で対応を行っております。

高齢者の事故防止につきましては、昨今非常にふえておりますので、老人クラブ等いろんな機会にこちらのほうから赴きまして、高齢者の交通教室あたり、特に力を入れて今実施しているところでございます。さらに、パトロール等も強化をいたしまして、交通安全の巡視に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○委員（鈴木田幸一君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、鈴木田副委員長。

○委員（鈴木田幸一君） はい。一般的に交通事故対策というのはですね、どうしても警察の方々と行政が一体となってから、交通事故ば減らそうという意気込みを見せておくことが非常に大事なことだと思いますので、やはり今ふえているということであるならば、予算的なもの、金がないからということじゃなくて、やっぱ地域を守る、命を守るちゅう、そういうことですすね、今後も一生懸命頑張ってもらいたいって思います。

○委員長（福嶋安徳君） 意見でいいですか。

○委員（鈴木田幸一君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

○委員（上村哲三君） よかですか。

○委員長（福嶋安徳君） 上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。10ページので

すね、歳入の地方交付税の減額ですが、人件費減額の調整というふうな説明があったと思いますが、これは大体の人数、それから人件費と、それから共済費の内訳はわかりますか。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中課長。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。今回の一般会計での人件費補正の概要でございますけれども、まず、退職がですね、一般職が6名と議員が1名いらっしゃったということで2229万2000円。（「ちょっとゆっくり言ってな」と呼ぶ者あり）済みません。2229万2000円。（「はい」と呼ぶ者あり）それから、休職者が5名でマイナスの627万5000円。それから、育児休業が25名おまして5237万4000円。それから、共済負担金の改定で4785万9000円。以上がそれぞれ減の理由でございます。

それ以外にですね、職員の昇給であったり、あるいは時間外勤務手当の補正がございまして、こちらが合わせて2809万7000円。これが増額分となります。差し引きますと、合計ですすね、1億70万3000円の減額ということになっております。

以上が、人件費全体の増減でございます。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。合併以来ですね、職員の減の目標250名ということで進めてきとつですすね。で、その状態は今現在どぎゃんたつとつとでしょうか。行革やる一番何かいいところが人件費の問題だろうというようなことがね、何かすぐ合併した当初言われてすすね、議会あたりはもう当初3分の1ね、いきなり3分の1の定数でね、選挙をやってきたりして進めてきてるんだけど、職員も250名を減額しましょうと当時の長から言われて、その状態があるんですけど、現在でもうこの目標は達成し

てるのでしょうか。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、中課長。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。現在、職員数が1089名でございます。で、目標が27年度4月で1080でございますので、あと9名。あと2回の採用、退職ですね、入れかえで9名というところでございます。順調に、大体1年前倒しぐらいに進んでいるのかなというふうに見ております。

以上です。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、上村委員。

○委員（上村哲三君） ほんとね、数字的に大変達成しやすい行革であってね、職員の減とかですね、議員の減とかいうのは。だけど、実際行政としての仕事をですね、全うしていけるのかというのがですね、僕らとしては不安な部分があるわけですよ。

例えば、ずっといろんな部長に行って、いろんな仕事の話をしていく中でですね、とにかく人が足らぬで忙しかつてすばいとか、なかなかそこまで回らぬとですよという話は、ちょくちょく聞く話じゃあります。だから、何もかんもね、早急に……、今話じゃ1年前倒しでその部分の行革は進んでるという話だけど、それがやっぱり市民へのサービスのね、低下を招くようであってはいけないというふうに思うわけですよ。時間をかけてね、それは逆に減らしていく可能性でもいいんじゃないかと。

で、そんな中で、今いろいろ周りからも言われている支所あたりですね、機能の問題、そのあたりも捉えて十分、人事配置ですね、総務部長、人事配置あたりをよく考えていかにやんだろうし、その部署のですね、人事配置も、当然本庁のですね、そういうのも考えていかにやんだろうけど、そういう部分でですね、ここでもさっき説明があったけど、いかぬとは言えぬけど、

いろいろ退職その他無理はなかつたろうけど、休職その他のですね、部分がですね、職員さんをやはりどう生かしてね、皆さんを税金で賄っているわけだけんで、やっぱ生かして使っていくちゅう部分じゃですね、このあたりのところをやはり十分検討しながらですね、やっていかぬと、単純にやはり地方交付税の調整あたりもですね、できて減額にはなってくるんだけど、それが全ていいわけじゃないわけだからですね、やはりそのあたりのところを十分調整してほしいなというふうに思うわけですよ。

だから、職員さんの減数もね、少し考えながら、ゆっくりやりながらでもですね、やっぱ市民サービスの向上に向けた仕事のやり方からですね、この人件費あたりの問題は考えていってほしいなというふうに思っておるところでございます。

以上です。もう意見でいいです。

○委員長（福嶋安徳君） はい。それじゃ、意見でいいですか。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

はい、ほかにはございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。ないようでございます。質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いいたします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） ないようでございます。これより採決いたします。

議案第120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号中、当委員会関係分について、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福嶋安徳君） 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。（「ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

◎議案第124号・指定管理者の指定について
(八代市スポーツ・コミュニティ広場、八代市弓道場、八代市球技場、八代市民プール、八代市民球場、八代市総合体育館、八代市立武道館、八代市相撲場)

○委員長(福嶋安徳君) はい。次に、事件議案の審査に入ります。

議案第124号・八代市スポーツ・コミュニティ広場、八代市弓道場、八代市球技場、八代市民プール、八代市民球場、八代市総合体育館、八代市立武道館、八代市相撲場に係る指定管理者の指定についてを議題とし、説明を求めます。

○市民協働部長(山本道弘君) 委員長。

○委員長(福嶋安徳君) はい、山本市民協働部長。

○市民協働部長(山本道弘君) はい。おはようございます。市民協働部の山本でございます。(「おはようございます」と呼ぶ者あり)

さきの10月25日の総務委員会におきまして、八代市体育施設の指定管理者制度導入につきまして、その指定管理者の選定を非公募で対応させていただき旨の御報告をさせていただきましたけれども、今般、その指定管理者候補が選定されましたので、指定管理者の指定につきまして御提案させていただきものでございます。

その内容につきましては、所管の稲本いきいきスポーツ課長によって説明させますので、どうぞよろしく御審議のほどお願いいたします。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい、委員長。

○委員長(福嶋安徳君) はい、稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。皆さん、おはようございます。(「おはようございます」と呼ぶ者あり)いきいきスポーツ課の稲本でございます。座らせて説明をさせていただきます。よろしく申し上げます。

それでは、議案第124号・指定管理者の指定につきまして御説明をさせていただきます。

議案書の1ページをお願いいたします。

今回、選定委員会が終わりまして、指定管理者候補者が決定いたしましたので、地方自治法第244条の2第6項の規定によりまして、指定管理者の指定について議会の議決を求めることとなっていることから、議案として今回御提案させていただきました。

まず、今回の提案に至った経緯でございますが、本年6月議会におきまして、八代市体育施設を指定管理者に管理を行わせることができる規定を定めた八代市体育施設の条例の一部改正の議決をいただいたところでございます。

また、9月議会におきまして、当委員会の所管事務調査において、指定管理者制度導入の目的、指定管理者導入予定施設を八代市スポーツ・コミュニティ広場を含む8施設とすること、指定管理期間を平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間とすること、指定管理料基準価格を2億149万8000円で積算したこと、指定管理者の候補者の選定方法を非公募で行うこと、非公募でNPO法人八代市体育協会を候補者として選定すること、八代市体育協会の概要、体育協会を非公募で選定する理由、今後のスケジュールなどにつきまして、9月議会におきまして、八代市体育施設の指定管理者についての状況報告をさせていただいたところでございます。

それでは、事前にお渡ししております指定管理者候補者の選定結果についての資料に基づいて御説明をさせていただきたいと思っております。事前にお配りしていたかと思っておりますけれども、指定管理者候補者の選定結果についての資料はございますでしょうか。(「なかったろう」「担当箱にあった」「担当箱だろう」「担当箱にあったな」「見たばってんかったばい」「いえ、机に」「あ、机ん上に」「委員長、休憩」と呼ぶ

者あり)

○委員長(福島安徳君) 小会いたします。

(午前10時39分 小会)

(午前10時40分 本会)

○委員長(福島安徳君) 再開いたします。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。

それでは、指定管理者候補者の選定結果につきまして、資料の1ページになりますけれども、まず、1、施設の概要の(1)名称でございますけれども、八代市スポーツ・コミュニティ広場以下8施設でございます。

(2)施設概要でございますが、資料の4ページをお願いいたします。

資料の4ページに、今回、指定管理者制度を導入の八代市体育施設の概要をまとめております。それぞれの施設の休館日、利用時間、施設概要、施設の内容、施設でできる主な競技種目を記載しているところでございます。

資料の1ページに戻りまして、2、指定の期間は、平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間でございます。

3番目に提案価格ですけれども、平成26年度から28年度、各年6715万円の3年間で、2億145万円の提案価格としていただいております。

4、指定管理者候補者の概要でございます。

(1)名称といたしまして、NPO法人八代市体育協会。所在地、熊本県八代市緑町11番地の1。設立目的といたしまして、広く市民に対し、体育・スポーツの振興に関する事業を行い、競技人口の拡大や競技力の向上、市民の健康増進及び体力向上を図り、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを体育協会のほうは目的とされております。

以下、(4)事業概要、平成25年度の事業内容を記載しているところでございます。

(5)従業員数につきましては、会長1名、

顧問1名、副会長4名、理事長、副理事長各1名、理事16名、競技協会26団体、各校区の体育協会21団体、各種団体8団体の計55団体で組織されております。

事務局の職員といたしましては、事務局長1名、次長が1名、職員が2名、それとトレーニングアドバイザーが2名ということで、計6名で仕事をされております。

続きまして、5、指定の経緯でございます。本年10月7日に申請の開始をいたしまして、同月25日に申請の締め切りをいたしました。11月の11日の日にプレゼンテーション並びにヒアリング等の選定委員会を開きまして、11月の13日に指定管理者候補者として決定したところでございます。選定方法は非公募でございます。

3ページをお願いいたします。

6、指定管理者候補者選定委員会の委員でございます。永原副市長を委員長に、ごらんの方々を選定委員会の委員として選定していただきました。

続きまして、7、選定結果ということで、資料の5ページをお願いいたします。

資料の5ページで選定結果ですけれども、5項目の選定項目で、それぞれの審査項目で審査をしていただきまして、200点満点の合計で144点の点数でございました。

また資料に戻りまして――資料の3ページに戻りまして、今後の日程ですけれども、今回の12月の議会で指定議決後、速やかに指定の通知を行いたいと思います。同じく議決後、指定の告示。来年の、26年の3月、予算の提案・議決を受けまして、26年の4月1日で協定の締結並びに指定管理運営の開始というような今後の流れになっているところでございます。

続きまして、6ページをお願いいたします。はい。

6ページのほうに、八代市体育施設における

指定管理者候補者選定委員会の検討内容につきまして記載させていただいております。

まず、1、指定管理者候補者の提案内容ということで、まず、自主事業等に関する具体的な取り組みといたしまして、(1)九州大会・全国大会の開催地誘致の活動、(2)有名講師による講演会の開催、(3)スポーツ大会やスポーツ教室の実施、(4)やっしろスポーツの日の設定などが具体的な取り組みというふうな形で提案をいただいております。

次に、利用者増加に関する具体的な提案といたしまして、(1)利用者アンケートや競技団体とのヒアリング等の実施、(2)顧客満足度調査アンケート、(3)施設外での営業活動などが利用者増加に関する具体的な提案として出されております。

続きまして、自主事業計画といたしまして、やっしろスポーツの日ほか、7ページになりますけれども、スポーツ教室の開催、また八代スポーツ写真展、トレーニング講習、スポーツ指導者養成講習会、親睦スポーツ大会の誘致などが自主事業の計画として挙げられております。

そのほか各施設の管理運営に関する提案といたしまして、(1)各施設への職員の配置、(2)利用者を中心とした体育施設利用者懇談会の開催、(3)地域雇用最優先による職員配置、(4)市民に親しまれる施設にするための取り組みなどが施設の管理運営に関する提案として出されたところでございます。

8ページになります。

2、選定委員会委員の方々の主な意見をここでまとめさせていただいております。

まず、1、スポーツの振興のみならず、市民の健康増進との視点からも、外部とうまく連携を図りながら事業展開をすることで、さらなる集客・利用率向上につながるのではないかと。

2、指定管理者制度を導入することにより、さらによくなるのが前提であり、市直営から

指定管理者へ切りかわるとき、スムーズな移行ができるように市と連携して行ってほしい。

3、施設管理運営実績がないが、競技に精通した方々が管理運営に携わることで、従来とは違った運営になっていくと思うので、期待をしている。

4、管理運営の手法については、市の直営と変わらないとのことだが、指定管理者になって利用しづらくなったなどの意見がないよう、管理運営を行ってほしい。

5、施設の利用率を上げるために、新規利用者をどうやって確保していくかが重要である。

6、市の条例規則に基づき管理運営を行うことから——ちょっと済みません、字間違いでございます、関係法令及び条例等を熟知していただき、適正な管理運営を行ってほしいというところから委員さん方の主な意見でございました。

以上のように、体育協会から提出されました自主事業計画や具体的な取り組み、利用者増加に関する具体的な提案、また管理運営に必要な提案価格等の事業計画書について選定委員会で検討・審議されまして、候補者等を決定いたしましたので、御提案するものでございます。

以上、説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長(福岡安徳君) はい。以上の部分について質疑を行います。

○委員(島田一巳君) はい。

○委員長(福岡安徳君) 島田委員。

○委員(島田一巳君) はい。年間6715万円とあります8つの施設のですね、お金の分配というか、そういうのはわかってますでしょうか。どこに幾ら、どこに幾らと。

○委員長(福岡安徳君) 稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。この提案価格につきましての積算につきまして

御説明をいたします。

体育協会のほうから、収入がどれくらいなのか、支出——かかる人件費、需用費等の経費が幾らなのか、そういうのを積算されまして、収入から支出を引きまして、不足する分の金額が6715万という金額を出されているところでございます。ですから、この6715万が分配されるのではなくて、全体の収入並びにかかった経費、その差額で市に委託料としていただきたい金額が6715万というような積算になっております。

以上でございます。

○委員長（福嶋安徳君） よろしいですか。

○委員（島田一巳君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） ほかに。

○委員（矢本善彦君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 矢本委員。

○委員（矢本善彦君） 合併して25施設があると思うんですけども、この8施設を市へ導入されて、あとの残りはどのように考えとるのかな、旧町村の施設は。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい、委員長。

○委員長（福嶋安徳君） 稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい。今回、8施設の体育施設を指定管理者導入いたしまして、あと各支所の管内にある体育施設のほうが残っております。それについては、各支所の公民館主事の——実は、各支所にある体育施設につきましての受け付け、窓口業務及び鍵の貸し出し業務につきましては、各支所の公民館の公民館主事が今現在行っているところでございまして、その公民館主事は体育施設の管理業務だけでなく、各支所管内の社会教育関係業務も行っており、地域団体や関係課と業務内容等を調整する必要がございまして、各支所の公民館主事の配置とか地域の住民組織の設立を見

ながら、ほかの施設につきましては、関係者といろいろ協議しながら、どのような管理運営体制がいいのか、今後検討をしていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員（矢本善彦君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、矢本委員。

○委員（矢本善彦君） 確かにですね、選定委員の意見も載ってますように、問題は利用者なんですね。私たちがやっぱ20年前体育会長をしよったころは、結構選手集めもそんななかったんやけども、最近では、見てみれば、選手集めに大変校区体育協会も御苦労されているようでございます。せつかくね、指定管理者制度を導入されたんだから、やっぱ地域の校区等のね、連携をとりながら、問題はやっぱ新規利用者の確保が一番だと思いますから、それをお願いしときます。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい、わかりました。

○委員（矢本善彦君） 答えは要りません。

○委員長（福嶋安徳君） 意見でいいですか。

○委員（矢本善彦君） はい。

○委員（橋本幸一君） よろしいですか。

○委員長（福嶋安徳君） 橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 先ほどの島田委員の関連ですが、アバウトに大体歳入歳出、それから、歳入の部分の利用料、その辺も含めて、もうちょっと具体的によろしいですか。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい、委員長。

○委員長（福嶋安徳君） 稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい。提案価格に基づきまして、簡単に御説明をさせていただきます。（委員橋本幸一君「はい」と呼ぶ）

3年間という今回指定管理の期間でございま

して、体育協会のほうも3年間のそれぞれの収支の計画を出されております。

まず、平成26年度におきましては、施設の使用料、これはもう8施設の使用料を2555万3000円。そのほか自動販売機の電気代の収入とか何かを142万6000円。で、トータルの収入の見込みといたしまして、2697万9000円を26年度歳入として掲げておられました。

で、支出のほう。人件費といたしまして3727万円。3727万円。それと、需用費——これは消耗品とか光熱水費とかもろもろ、需用費につかまして2432万4000円。それと、あと通信運搬費などの役務費といたしまして119万円。それと、機械警備の委託とか電気保安業務の委託とか植栽管理の委託、舞台設備のそういう委託料等に3134万5000円という委託料等の積算をされております。で、支出の合計が9412万9000円というような積算をされております。

で、先ほどちょっと申しましたけども、収入から支出を引きまして、6715万円というような市からの委託料をいただきたいというような積算をされております。で、27年度、28年度、ほぼ変わらないような積算でされております。

以上です。

○委員（橋本幸一君） いいですか。

○委員長（福島安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） はい、わかりました。

結局、委託されれば、いろんなイベント等についてですね、スタッフの面とかいろんな問題も発生してくると思うとですね。今まで市主催でやったときには、やっぱり職員のそういう協力とか体制もあったと思うのですが、非常にその辺に、今度はNPO法人でやられるとなれば、その辺のスタッフの手配とかも、従来よりか苦労される点も出てくると思うんですね。やっぱり必

要最低限、精いっぱいうまくいくように、やっぱり市の職員のその辺の協力というのも、いろんなイベント等も含めてですね、気配り、目配りして行って、これも要望ですから。

○委員長（福島安徳君） ほかにございませんか。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福島安徳君） はい、中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） はい。済みません、風邪を引いておりまして、こんな声なんですけど。

NPO法人の八代市体育協会につきまして、この前もですね、詳しい資料をつけてくださいということと言ったんですけど、従業員、会長、顧問、副会長、理事長等ですね、全然ここに記載がないわけですけど、こちらのほうはもう決定しているのでしょうか。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい。

○委員長（福島安徳君） 稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長（稲本俊一君） はい。従業員数、会長、顧問等の体育協会自体の役員名簿というのは、当然、体育協会のほうにございますので、その役員名簿はございます。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福島安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） はい。よければ、それを資料としていただきたいというふうに思いますけど。後からでもこれは結構です。（「資料請求やな」「資料請求ば確認」と呼ぶ者あり）

○委員長（福島安徳君） 資料請求いたしますか。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福島安徳君） 資料を要求しますか。（「採決せんばたい、資料請求の……」と呼ぶ者あり）

はい。済みません。ただいま中山委員よりN

PO法人の役員名簿を欲しいということでございましたので、「詳細資料で、法人の詳細資料で言わんばたい。」と呼ぶ者あり) はい、もとい。NPO法人の詳細資料を求められました。それについて委員会としてどういたしましょうか。「資料請求を」と呼ぶ者あり) ああ、資料請求を。「いたしますかと言わな」と呼ぶ者あり)

はい。中山委員よりNPO法人の詳細な資料を求められました。委員会として要求することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) では、そのように決しました。

はい、中山委員。

○委員(中山諭扶哉君) はい。やはりですね、先ほどから言われているように、メリットがですね、感じられるような、指定管理者にしてよかったですというふうに思うようなですね、ぜひ運営をしていただきたいというふうに思います。意見で。

○委員長(福嶋安徳君) はい。意見としてよかですか。

○委員(中山諭扶哉君) はい。

○委員長(福嶋安徳君) ほかに。

○委員(島田一巳君) はい。

○委員長(福嶋安徳君) 島田委員。

○委員(島田一巳君) はい。今回は3年ということですが、これが終わった後の何か、3年後のあれは何かありますでしょうか。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。

○委員長(福嶋安徳君) 稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。先ほどもちょっとですね、期間に関しましての御意見があったかと思いますが、まずは、今回3年間を体育協会のほうにさせていただきまして、それで状況等を見まして、次、さらに3

年にするのか、また5年にするのか、そのあたりは、その後検討していきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員(島田一巳君) いいですか。

○委員長(福嶋安徳君) はい、島田委員。

○委員(島田一巳君) 今回は非公募でしたけども、将来的には公募という形もあるんでしょうか。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。

○委員長(福嶋安徳君) 稲本いきいきスポーツ課長。

○いきいきスポーツ課長(稲本俊一君) はい。今回、非公募で体育協会のほうにするようになりましたけども、例えば、これは体育協会にさせていただきまして、管理運営のほうは順調にいくのであれば、当然さらにまた非公募というですね、考え方もあろうかと思えます。

で、万が一そういう運営面でも問題のほうがあるのであれば、そのあたりはまた市としてどういうふうにするか、そのあたりはちょっと検討していく必要があるのかなというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員長(福嶋安徳君) いいですか。

○委員(島田一巳君) はい、わかりました。わかりました。

○委員長(福嶋安徳君) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) はい。以上の部分について質疑を終了いたします。

意見がありましたら、お願いいたします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(福嶋安徳君) ないようでございます。これより採決いたします。

議案第124号・八代市スポーツ・コミュニティ広場、八代市弓道場、八代市球技場、八代市民プール、八代市民球場、八代市総合体育館、

八代市立武道館、八代市相撲場に係る指定管理者の指定については、可決するに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者 挙手)

○委員長(福嶋安徳君) はい。挙手全員と認め、本案は可決されました。「ありがとうございました」「ありがとうございました」と呼ぶ者あり)

◎議案第132号・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

○委員長(福嶋安徳君) はい。次に、条例議案の審査に入ります。

まず、議案第132号・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてを議題とし、説明を求めます。

橋口文書統計課長。

○文書統計課長(橋口幸雄君) おはようございます。「おはようございます」と呼ぶ者あり)文書統計課、橋口でございます。

議案第132号・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について説明いたします。座って説明させていただきます。

○委員長(福嶋安徳君) はい、どうぞ。

○文書統計課長(橋口幸雄君) 議案書のページとしましては13ページから28ページまでございますが、内容が48本の条例改正でございますので、あらかじめお配りしておりますこちらの1枚物ですが、この資料をもとに説明させていただきます。

それでは、資料の1の消費税率の改定についてでございますが、皆様御承知のとおり、消費税率は平成26年4月1日から8%に引き上げられ、さらに、平成27年10月1日から10%に引き上げられる予定でございます。

ちなみに、これまでの消費税に対する本市——これは旧八代市になりますが、本市の対応でございますが、平成元年4月1日の消費税3%

導入時には、市の使用料等を3%引き上げておりました、このときは16本の条例を一括して整備条例として提案しております。

また、平成9年4月1日の消費税率改定時、これは3%から5%になったときですが、このときにも18本の条例改正を提案しております。

さらに、平成16年4月1日の総額表示方式実施時にも、整備条例を提案しております。

次に、2の使用料等の改定の方針でございますが、消費税率の改定に先立ちまして、関係課と協議を行いました。そこで、資料に書いてありますとおり、現行の使用料等の額に105分の108を乗じて得た額に改定することといたしました。下に書いてありますとおり、10%改定時も同様とする予定でございます。

また、その際の端数処理につきましては、利用する方々の利便性や税の取り過ぎを防ぐという観点から、市として統一した取り扱いにすべきと考えまして、括弧に書いてありますとおり、原則として10円未満の端数は切り捨てることといたしております。

次に、3の関係条例の取りまとめでございますが、これはただいま申しました引き上げの計算方法や端数処理の方針を文書で示しました上で、本年5月14日に各課に照会をいたしまして、最終的に22の課から合計48本の条例を改正するとの回答を得まして、今回、文書統計課のほうで整備条例として取りまとめ、提案しております。

最後に、4の経過規定についてでございます。これは条例案でいいますと25ページの附則の部分でございますが、大きく2つの種類といたしますか、パターンがございます。

まず、上の丸ですが、継続した利用が行われている施設——これは業者が使用の許可を受けて運営しております食堂や物産コーナー等のごとでございますが、厚生会館やハーモニーホール、温泉施設などがございます。これらや同じ

く継続した利用が行われている水道料金等につきましては、平成26年4月1日の利用から改定後の使用料、つまり、8%を適用することといたしております。

次に、下の丸ですが、ホールや会議室など利用するごとに使用の許可を行う施設、つまり、1回ごとに使用の許可を行う施設につきましては、平成26年4月1日以後に使用の許可をしたものについては、改定後の使用料8%を適用しますが、括弧書きに書いてありますとおり、平成26年3月31日までに使用の許可をしたものは、それ以後ですね——4月1日以後に利用するものであっても、現行の使用料、つまり、5%を適用することといたしております。

以上で説明を終わります。御審議よろしくお願ひします。

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上の部分について質疑を行います。何かありませんか。特にないようでしたら。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） ないようです。なければ、これより採決します。

議案第132号・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福嶋安徳君） はい。挙手全員と認め、本案は議案のとおり可決いたしました。

（「ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

◎議案第133号・八代市振興センター条例の一部改正について

○委員長（福嶋安徳君） 次に、第133号・八代市振興センター条例の一部改正についてを

議題とし、説明を求めます。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい、委員長。

○委員長（福嶋安徳君） 橋本泉支所総務振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）泉支所総務振興課、橋本でございます。よろしくお願ひします。

議案第133号・八代市振興センター条例の一部改正について御説明をいたします。着座にて説明をさせていただきます。

○委員長（福嶋安徳君） はい、どうぞ。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） 議案29ページ、第133号・八代市振興センター条例の一部改正について御説明いたします。

今回の改正につきましては、消費税率の見直しによる使用料の改定を基本としておりますが、施設の利用時間帯による料金の設定をし、他の市有施設との整合をさせるため、改定を行うものです。

また、空調設備、冷暖房の使用に対し、料金の徴収規定がこれまでございませんでしたので、新たに新設するものです。

○委員長（福嶋安徳君） 橋本課長（泉支所総務振興課長橋本和郎君「はい」と呼ぶ）、どちらの資料ですか。（泉支所総務振興課長橋本和郎君「議案、議案」と呼ぶ）（「議案、議案書が」と呼ぶ者あり）こっち、こっちか。はい。

はい。本会へ戻す。再開します。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。30ページ。

○委員長（福嶋安徳君） はい、いいです。続けとってよかです。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） 30ページの上から4行目、別表第2表をごらんください。

八代市振興センターいずみの使用料につきま

しては、これまで診療所及び商工会事務室・相談室以外につきましては、1時間当たり、また1回当たりでの徴収を行ってまいりました。今回、診療所及び商工会事務室・相談室を除く各区分の使用料を午前、午後、時間外の3つの時間帯による徴収とするものです。

全ての時間帯において、1時間当たり使用料180円、税込みの状態では180円を基準として算定しております。

なお、診療所及び商工会事務室・相談室につきましては、月当たりの徴収ということで改正はありませんが、消費税分の見直しを行っております。

各区分ごとの使用料につきましては、別途配付の新旧対照表というのをお配りしてございますが、そちらのほうをごらんいただきたいと思っております。

なお、額につきましては読み上げを省略させていただきますが、研修ホールにつきましては、使用体系が3つの部屋に区切って使用が可能となっております。それをそれぞれの使用体系により使用料を設定しております。

また、備考欄1に示してありますように、使用区分において空調、冷暖房を使用する場合、1時間当たり100円の空調使用料を加算することを新たに追加しております。

備考欄2から5は、時間外における空き室の有効利用時の料金の徴収を規定しております。

備考欄6は、研修ホールにおきましては、指定管理者が自主事業として行っております冠婚葬祭事業等で、ホールの全体を二日間にまたがって使用するということがございます関係から、別途料金設定を2万1600円という形で新たに決めさせていただいたところです。

31ページの上から9行目、振興センター五家荘のつきましては、振興センターいずみと同じく、使用料の3つの時間帯による料金設定と空調、冷暖房使用料の新設、空き室の有効利用

時の使用料を設定したものです。各区分ごとの使用料につきましては、先ほどの新旧対照表をごらんいただきたいと思っております。

備考欄1に示します、指定区分において空調機、冷暖房を使用する場合は、1時間当たり100円の空調使用料を加算することを新たに追加しております。

備考欄2、3におきまして、資料室の有効利用時と時間外における料金を規定しております。

備考欄4は、コミュニティホールのガス使用料、1台当たり50円を定めたものです。

備考欄5は、レクリエーションホールを高校生以下が使用する場合に、使用料を半額とすることを定めております。

備考欄6において、会議室、コミュニティホール及びレクリエーションホールの時間外利用として使用料金を定めております。

以上、簡単ですが、今回の改正点の説明とさせていただきます。よろしく御審議お願いします。

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上の部分について質疑を行います。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） はい。別紙の新旧対照表についてお聞きしたいんですけど（泉支所総務振興課長橋本和郎君「はい」と呼ぶ）、この現行の単位の中で1回というふうにありますけど、こちらの定義をちょっと教えていただきたいと思っております。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい、委員長。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本泉支所総務振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） これまでは、1回という形では、その日に1時間使っても1回の料金という形で取ってまいりました。その分を利用しやすいように、午前中、例えば

3時間という設定をしておりますけれども、3時間とる場合に、1時間を180円の3時間分という形の540円という形に設定したところです。午後は、今13時から17時までの4時間という形で、180円の4時間という形を設定しております。これまでもう短時間の利用であっても1回分を払わなければいけなかったという点をちょっと見直させていただいたところですよ。

以上です。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） 1日使っても1回ということでしょうか。（泉支所総務振興課長橋本和郎君「はい、そうです。あ、済みません」と呼ぶ）

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） これまでの設定では、1日使っても1回。例えば、時間外の規定といいますか、夜の9時まで使っても1回という加算でしかなかった部分を時間帯に割り振ったという形です。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） そうしますと、部屋を1日使う場合とかになりますと、これ数倍の料金がかかるということなんですけど、市民サービスの低下にはつながらないんでしょうか。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本泉支所総務振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。これまでの施設の利用体系から見ますと、会議室等につきましては、ほとんど丸1日という利用の体系はございません。

今まで使っております研修ホールにつきましては、当然、先ほど備考欄にも使わせていただ

いておりますけれども、冠婚葬祭業において、前日からの準備から入れまして次の日までと24時間の体系をつくっております。その場合については、当然高くなってくる可能性がありましたので、その分、二日間計算しますとふえる分を2万1600円という形のちょっと割安という形で設定させていただいたところですよ。

また、各研修会等におきましても、ほとんど時間を越えて、8時間が最高かと思うんですけども、その形でいきますと、今までの料金がちょっと余りにも安過ぎたのかなという気はしております。

以上です。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） この変更に伴ってですね、どれだけの収入がふえるとか、そういう試算はされたんでしょうか。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本泉支所総務振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。この振興センターにつきましては、24年度の実績におきまして、全体の使用料としましては、21万9475円が24年度の実績でございます。

これにつきまして見てみますと、研修ホールが年間使用回数が10回。これは体系別ですけども、A、Bの小さい部屋を使う場合が5回、それから全ホールを使う場合が5回の10回の利用ということになっております。

それから、各小さな特産品研究室につきましては64回の利用、それから、農林研修室56回、それから、図書室が31回の利用ということになっておりまして、センター全体でも154回の利用でございます。

23年度におきましては、センター全体で119回、利用料金につきましては17万960

0円という形で、今までの体系から見ますと、各部屋につきましては、ほとんどが8時間内の利用という形になっております。

で、今回も利用体系からいきますと、1日1回であった部分につきましては、今度は2回、3回という形に回数的にはふえてくるかと思えますけれども、利用料としては、もうほとんど差はないのではないかとこのふうに見ております。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） 一番ですね、危惧するのが、これを変えたことによって、改悪ってということで地域の皆さんからですね、思われるんじゃないかなということを心配するんですけど。先ほどの質問が、平成23年度では119件の17万9600円、これを新しい制度に変えたときに、どういうふうな、幾ら上がるような、予算立てとかそういうことで考えられてますでしょうかということ。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 橋本泉支所総務振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。申しわけありません。まだそこまでの算定は今回行っておりませんでした。

○委員長（福嶋安徳君） はい。いいですか。

○委員（中山諭扶哉君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中山委員。

○委員（中山諭扶哉君） そうですね。ちょっと地域の方の負担がふえないような方向でいったほうが私はいいと思うんですけど、これはもう決定ですよ。

○委員（上村哲三君） はい。よかですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、いいですか。上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。今回の料金改定に係る分は、ほかの市有施設のですね、利用料体系と整合性をとったものでございますか。そ

こところを聞かせていただきたいんですが。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 橋本泉支所総務振興課長。

○泉支所総務振興課長（橋本和郎君） はい。今回の改定につきましては、消費税分の当然値上げ部分と、あとは、いわゆる市有施設、他の市有施設との整合性はなるべく持たせようということで時間帯も決めておりますし、料金等につきましても、今、泉支所管内にありますほかの市有施設とも大体統一した形で作っております。

○委員（上村哲三君） はい。委員長、了解しました。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） ほかにありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） なければ、これより採決します。

議案第133号・八代市振興センター条例の一部改正については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福嶋安徳君） 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。（「ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

◎議案第137号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正について

○委員長（福嶋安徳君） はい。次に、議案第137号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正につい

てを議題とし、説明を求めます。

○市民税課長（松本秀美君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 松本市民税課長。

○市民税課長（松本秀美君） 市民税課の松本です。よろしく願いいたします。座らせていただいて説明いたします。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

○市民税課長（松本秀美君） 議案第137号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部改正についてでございます。

皆様御存じのように、市税条例の延滞金等の改正につきましては、6月議会において承認をいただいております。今回の案件は、税外収入に関する延滞金等の改正でございます。税外の延滞金等には、介護保険料や公共下水道事業の受益者負担金などがございます。一部税率が市税と異なっていたものを含めて、市税と同じ税率に改めるものでございます。

内容は、現在の低金利の状況を勘案し、負担軽減を図るため、利率の引き下げを行うものでございます。個別の改正につきましては、関連する委員会で審議をいただいております。

お手元の資料は、財務省のほうが出しております国税の改正資料でございます。貸出約定平均金利が1%の場合を想定しております。

現在、速報値というのが来ておまして、実は、貸出約定平均金利というのが0.9%になる予定というふうに伝わってきております。正式な通知は12月の15日までに回ってくる予定なんです、資料のほうでは、延滞金のほうを14.6%が9.3%というふうになっておまして、4.3%部分が3.0%になるというふうに記載してありますが、貸出約定平均金利を1%の場合で計算しておりますので、0.9%になりますと、9.3%部分を9.2%、3.0%を2.9%というふうな形で、一番下の還付加算金についても、2.0%を1.9%に変わる

予定でございます。

本則のほうの14.6%と7.3%は残っておりますので、万が一物すごくインフレ等が起こりまして金利が上がった場合も、最高はその14.6%、7.3%が打ちどめになるというふうな形になります。

あと、うちのほうで関連しますのは、特に還付加算金というのがございまして、これは税のほうなんでございますが、予定納税という制度がございます。これについても4.3%の高い金利で支払っていたものでございますから、還付加算金については、今回1.9%になるということでございます。

以上で私の説明を終わります。

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上の部分について質疑を行います。何かありませんか。

○委員（橋本幸一君） よろしいですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 今、還付加算金ということで、予定納税者が、結局その差額が次年度に、——市の場合は現状として、どのような現状で今あつてると。（市民税課長松本秀美君「はい」と呼ぶ）

それと、改定された場合は、今、率がどう変わると言われたですか。（市民税課長松本秀美君「4.3%が1.9%になる予定でございます」と呼ぶ）その場合は、八代においてはどう変化するのか、その辺もちょっと詳しく。

○市民税課長（松本秀美君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、松本市民税課長。

○市民税課長（松本秀美君） 法人市民税の場合でございますが、どうしても前年支払った分について半分を予定納税で納めるというふうな制度になっておりますので、もし、その納期限内に納めないと、逆に延滞金がつくような形になりますので、企業なりが1000万なら1000万、2000万前年払ったら1000万を

納めると。それについて、もし企業業績が物すごく悪くなった場合に、それを逆に、今度は納めていただいた分を加算金としてこちらが払わなくちゃいけないという形になっております。それで、なるだけ早くその手続をして、こちらから返すという形になるかと思えます。本税と一緒に返すという形になります。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 八代の状況っていうのは、今どういう状況なんですか。

○市民税課長（松本秀美君） おおむね……資料は持っておりませんが、大体半分以上、均等割だけという企業が多ございます。これはもう八代だけじゃなくて、日本全国で5割からもしくは7割ぐらいというふうな話も聞きますが、均等割だけということで、法人税割のほうを払ってない企業が非常に多いものですから、仮に、去年はよかったけども、今年は非常に成績が悪くなった企業等については、還付加算金が発生するという形になります。

個人の場合は、所得税のほうで、例えば、野球選手なんかで契約金たくさんもらった方が、翌年非常に成績が悪かったとか、非常に成績が悪くて給与が下がった場合には、予定納税という形で納めるものですから、それについても還付加算金をつけて返すという形になるかと思えます。

○委員（橋本幸一君） いいですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 今の経済状況から見れば、上向きということになれば、来年度においては、還付は少なくなるて理解してよかったですね。

○市民税課長（松本秀美君） そうですね。今現在もそれだけ法人税割を納めてる企業が少ないわけですから、これ以上、還付加算金がふえるような形は少ないんじゃないかと思っております。

○委員（橋本幸一君） はい、結構です。

○委員長（福嶋安徳君） はい。ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） なければ、これより採決します。

議案第137号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福嶋安徳君） はい。挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

（「ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

◎議案第142号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

○委員長（福嶋安徳君） 次に、議案第142号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正についてを議題とし、説明を求めます。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中人財育成課長。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。こんにちは。（「こんにちは」と呼ぶ者あり）人財育成課、中でございます。よろしく申し上げます。着席の上、御説明申し上げてよろしいでしょうか。

○委員長（福嶋安徳君） どうぞ。

○人財育成課長（中 勇二君） それでは、議案書のほうは55ページからになります。それとあわせて、別途に概要の資料——1枚物でございますが、右肩に議案第142号関係資料と書いたものがございますでしょうか。こちらのほうもあわせてごらんいただきたいと思っております。

それでは、議案第142号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について説明いたします。

提案理由でございますが、職員の勤務1時間当たりの給与額の算出方法を祝日等を除いた日数をもととして算出する方法に改めるに当たり、必要な条例の改正を行うものでございます。

次のページをお願いいたします。

条文の改正は、算出方法を規定しております第35条の一部でございます。

それでは、資料のほうをお願いいたします。

改正の趣旨でございますが、職員の勤務1時間当たりの給与額の算出方法につきまして、現在は国家公務員と同様の方法によっておりますが、それを地方公務員にも適用されます労働基準法施行規則の規定に適應するよう、必要な改正を行うものでございます。

改正内容でございますが、計算の基礎となる1年間の勤務時間数を、これまで給与支給の対象となる時間という考え方で、1週間当たり38時間45分掛ける52週ということで2015時間としておりましたが、これを労働基準法に合わせまして、実際に勤務する必要がある時間とするため、それから、休日——これ祝祭日や年末年始の休日が該当しますが、18日分を差し引くものです。

年によって休日の日数に変動がありますが、先に改正しております熊本県においては、過去10年間の最大値ということで18日と固定されており、本市においても同様の方法をとりたいと考えております。

差し引きますと、1875.5時間となります。算出方法はそちらに記載しておりますけれども、給料を1.2倍しまして年額を出しまして、それを年間の勤務時間数1875.5時間で割るということになります。

こちら改正した場合に影響が出るものとしたしましては、支払う分としては、時間外勤務手

当、休日勤務手当、それから夜間勤務手当の手当額です。差し引く分としましては、組合休暇、介護休暇、それから部分休業等により減額するものが影響あります。

改正後の時間単価につきましては、平均7%程度上昇すると見込んでおります。

施行日は平成26年4月1日からといたしております。

説明は以上でございます。御審議方よろしく申し上げます。

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上の部分について質疑を行います。何かございませんか。

○委員（上村哲三君） はい、よかですか。

○委員長（福嶋安徳君） 上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。改正後の時間単価の平均上昇率が7.4%ということですが、実質的な金額には、換算したらどれぐらいの差し引きが出てまいりますか。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中人財育成課長。
（委員上村哲三君「試算できれば、できる範囲内でよか」と呼ぶ）

○人財育成課長（中 勇二君） はい。平成24年度の決算の実績で数字を拾っておりますけれども、支給全体がですね、1億9500万程度ございました。それに率を決定試算いたしますと、影響額としましては、1440万程度アップするだろうというふうに思われます。

○委員長（福嶋安徳君） ほかにありませんか。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。関連してですが、ここで時間外勤務手当等が支払う分では恐らく多くなってくるんだろうと思いますが、金額的にね。現在も、言いにくいことではしょうが、サービス残業はね、当然行われていると思うんですよ。庁舎内でもですね。そのことはここには加味できるんだろうかというふうに思ってます

ね。答えられる範囲内でいいです。はい。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中人財育成課長。
（委員上村哲三君「答えにくければ結構です」と呼ぶ）

○人財育成課長（中 勇二君） はい。今の御指摘がありました、いわゆるサービス残業ですね。これがあるといけないものというふうに考えております。

実は、公務職場に限らずですね、一般的な職場でも、こういったサービス残業というものについては、非常に厳しく、今、労働基準監督署のほうを取り締まりというものを実際にやっております。実際、この時間外単価の改正というのも、実は、公務職場において労働基準法に適合していないという指摘が労働基準監督署からですね、ありまして、これは全国的にですね、沿ってないということで指摘があっておりまして、それに対応するものでございます。

現在、市のほうでは、そうしたサービス残業あたりをなくすためにですね、庁舎の守衛室前にですね、退庁の時間を記録するシステムを置きまして、退庁の記録をですね、時間分単位で記録できるようにしております。それを各課のほうにフィードバックしまして、時間外勤務命令ときちんと整合してるか確認をするということを各課にお願いをいたしております。

それとあわせてですね、適正な運用についてということで、平成23年3月にですね、管理についての方法を指針を示しております、それに基づきまして、事前命令、事後確認、そういったものを各職場で確実にやっていただくようお願いをしてるところです。

以上です。（委員上村哲三君「はい、わかりました」と呼ぶ）

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。そこんところが

少し心配するところだったんですよ。今回のこの改正が、今、中課長が言われたようにですね、基本に労働条件の問題があるということであるのでですね、評価したいというふうに思っておりますし、このことが、ひいてはですね——意見としてですね、職員さんたちの士気の高揚と、それから、仕事の内容に対するですね、効率的な取り組み、そのようなことにつながればですね、これは一番幸いなことだなというふうに思っておりますので、ぜひそのような、今言われたようなですね、指導を今後も続けていただきたいというふうに思っております。はい。意見として。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

○委員（橋本幸一君） もう1つよろしいですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 今まで国家公務員と同様な計算でされて、今回、労働基準法施行規則の規定ということですが、その規定が今回変わったんですか、それとも、もうこれは以前からあったんですか。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） 中人財育成課長。

○人財育成課長（中 勇二君） はい。こちらは以前からあったものでございます。

で、公務員の場合はですね、休日という捉え方が——土・日の分を週休日といってるんですが、今まではそれだけを除くという形になっておりました。で、それと別に祝祭日、年末年始の休日、休日というのがあるんですが、労働基準法では、いわゆる週休日と休日をあわせて休日というふうに呼んでおります。で、それ除いたものを所定労働時間というふうに規定してございますので、これまでは旧制度については国公準拠ということで、地方公務員どこの自治体も国家公務員とおりにやったんですけども、それは労働基準法、地方公務員は適応されます

ので——国家公務員は適応されませんが、その違いがあるので、労働基準法に適應するような取り扱いをなささいというところで、例えば、企業職場あたりがですね、病院とかそういったものに他の自治体で査定が入ったときにそういう指摘があって、どんどんそういうふうに切りかえていってるところでございます。

○委員長（福嶋安徳君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員（鈴木田幸一君） はい。よかですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、鈴木田委員。

○委員（鈴木田幸一君） はい。今、残業に関する職員の方々の考え方、いろいろあると思いますけれども、本来8時30分から5時15分までを労働時間として考えておるわけなんですけれども、本当に必要な残業というのは、もう大変必要だと思うんですよ。しかし、もし昼間な、昼間本当に仕事せぬばならぬ時間に仕事をゆっくりして、その分を残業にする職員がおるっていうことになるならば、これはけしからんことだと思うんですよね。そこについては、このようにして、やはり正当なやっぱし費用を払うということは前提でありますので、職員の方々もですね、まず基本は8時半から5時15分までが仕事時間であるというのをですね、十分に認識した上で頑張ってもらいたいと思うんですよ。当然それで間に合わない部分については残業しなければならないって。これはもう敬意を表して頑張ってもらわぬばいかぬことでもありますけれども、誤解のないようにですね、一般の方々が、昼間はあんまし仕事うろうろしてたり、残業ばっかしてから手当ばらうていうような、そういうふうなうわさが立たない

ようなですね、そういう職員の方々の仕事の緊張さというのをですね、これからも続けてほしいと思います。

以上です。

○委員長（福嶋安徳君） はい。ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。これより採決いたします。

議案第142号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福嶋安徳君） はい。挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

（「ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

◎議案第143号・八代市市税条例の一部改正について

○委員長（福嶋安徳君） はい。次に、議案第143号・八代市市税条例の一部改正についてを議題とし、説明を求めます。

○資産税課長（畑中房一君） はい、委員長。

○委員長（福嶋安徳君） 畑中資産税課長。

○資産税課長（畑中房一君） こんにちは。（「こんにちは」と呼ぶ者あり）資産税課の畑中です。よろしくお願ひします。座っての説明をお許しいただきたいと思ひます。

○委員長（福嶋安徳君） はい、どうぞ。

○資産税課長（畑中房一君） 説明に際しましては、議案書並びに1枚物の総務委員会資料、八代市市税条例新旧対照表で御説明させていただきます。

それでは、議案書57ページをごらんください。

議案第143号・八代市市税条例の一部改正についてでございます。

八代市市税条例の一部を次のように改正する

ものとする。

提案理由といたしましては、平成26年度における固定資産税の税率を改定するには、条例の改定が必要であるためでございます。

次のページ、58ページをお願いいたします。

八代市市税条例の一部を改正する条例。八代市市税条例、平成17年八代市条例第256号の一部を次のように改正する。

附則。固定資産税の税率に関する経過措置でございますが、第2条の4第2号中、平成25年度を平成26年度に改める。

附則。この条例は公布の日から施行するということでございます。

ただいま御説明申し上げました内容につきましては、お手元の1枚物の八代市市税条例新旧対照表において、改正部分をアンダーラインで記しているところでございます。

また、下段には、参考資料といたしまして合併協議会での決定事項を記載しておりますので、後ほど見ていただければと思っております。

それでは、改正案の説明をいたします。

今回の条例改正案につきましては、現下の社会経済情勢は、長引くデフレによって長期低迷に陥っていましたが、昨年12月の政権交代以来、いわゆるアベノミクスにより、我が国経済に明るい兆しが見られるようになったものの、その効果はまだ一部の大企業や大都市にとどまり、いまだ地域経済が活力を取り戻すには至っておりません。

本市の管内企業の経営動向調査等におきましても、個人消費が底がたく維持しているほか、建設、サービス、卸売りが緩やかな回復を見せてはいますが、製造、飲食及び雇用・所得環境に総じては厳しい状況にあり、景気回復を実感できるまでにはほど遠いのが現状でございます。

また、平成26年4月からは消費税が8%に引き上げられ、各家庭においては増税負担が重くのしかかり、家計を圧迫することが予想され

ますので、平成26年度におきましても、平成25年度と同様に、固定資産税の税率を1.5%でお願いしたく、提案するものでございます。

以上、簡単ではございますが、税率の一部改正の説明といたします。御審議方よろしく願います。

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上の部分について質疑を行います。ありませんか。

○委員（橋本幸一君） よろしいですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 合併協議会の決定事項ということで、当時は5年を経過すれば1.6に戻すということで、本則は大体1.6ということで、附則が今1.5。で、やっぱ今消費税の8%から、また次には10%。これが非常に今、固定資産税のたった0.1上げるのに、やっぱ本市にとっては苦勞してるという、そういう状況に今感じらるつとですね。

本来なら、今の状況ならば、もう1.6になったほうがいいんじゃないかなという。これから合併10年過ぎれば、段階的に減っていくという状況の中ですと、やっぱり0.1で約5億ですね、換算すれば。（「5億から6億」と呼ぶ者あり）その辺の範囲で非常に本市にとっては財源としては貴重な財源とも言えるわけですから、今の状況については、私もこの1.5をまた再度26年度もということには異論はございませんが、将来的、本市の財政等を考えるとき、タイミングを見てですね、1.6に、本則に戻すということも、本市としては考えていかなければならぬんじゃないかなという、そういう思いもしておりますが、その点はいかがでしょう。（笑声）

○委員長（福嶋安徳君） 木本総務部長。

○総務部長（木本博明君） はい。ただいまの件につきましてはですが、1つ、0.1%の誤差につきましてはですね、合併当時の七、八年前——平成18年度前後は5億円でございました

が、今は4億6000万、4億5000万前後でございます。下がっております。

で、ありがたいお言葉でもございますが、財政を預かる者としてましてはですね、実は、できるだけ合併協定に沿って上げさせていただきたいなどは思っております。特に歳入の見込み、今後の財政の見込みとして、本会議のほうでも御説明いたしました、平成32年ごろには赤字——このままの推移をすればということでございます、赤字転落ということでございますので、少しでも財源確保という意味では、近い将来1.6に上げていただければ、少しでも財源のほうは確保できると思っております。

以上でございます。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、上村委員。

○委員（上村哲三君） はい。私も関連していいでしょうか。今の橋本委員の意見に関してですね。

この固定資産税率を上げる、上げないの問題はですね、一般質問でも言ったんですが、ネガティブな方向から見るのか、ポジティブな方向から見るのかの、この2つのどちらかなんだと思うんですよ。ネガティブに見ればですね、上げない方向でですね、やったときの長もいだろうし、というふうな思いがあるんですけどですね。

例えば、ここ合併して8年たちましたね。1000分の14から始まってですね、今1000分の15ですよ。この間に60億以上ですよ、金額的に試算し直せば。その60億ですよ、やっぱ八代市の税収をですね、新たな投資的ですね、経費として市が使えばですね、どんだけの効果があったという検証はできないんですよ、これが残念ながら。やってないからね。

本来は、恐らくそれは、60億は5倍、6倍の投資効果に、恐らく総務部あたりでは計算す

るんでしょう。恐らくですね。市の事業として何かをいろんな民間発注をしていって、地元に還元していけばですね。そういう面からすれば、今、橋本委員が言われたように、いつかは判断しなければならないことだろうし、ポジティブに考えればですね。

で、一番大きな負担はどこにやってくる、これは大きな企業なんですよ。固定資産税というのは。八代市でいえば、5大企業、5大企業でよく言われますが、民間の私たち——私たちはもうほとんど資産なんかありませんのでですね、固定資産税を払いもせぬとですが、年間にしたらわずかな部分だけど、そのことがその部分以上にですね、やはり市民に返ってくるようなですね、方策をするのも、この税率の問題だと思うんですよ。

サービスをですね。例えば、年間1万円ふえた。負担がふえたて、私が。ところが、2万円以上の市民サービスの還付があったというふうなことが見られるようなですね、財政のやり方というのがですね、私はこれから必要だと思います。

特に、先ほど橋本委員からもあった、合併して27年にですね、交付税の算定がえ措置がね、行われていくという中でですよ、やはり自主財源というのをね、やはりどんだけやっぱ求めていくか。私はこの8年はですね、残念な8年だったというふうに思っております。だから、そのことも含めですね、やはり本当のやっぱ議論を進めて、最終的には、この行政のあり方というのは市民サービスへの転化だから。だから、そこんところを考えればですね、苦渋の選択をする時期はですね、もう27年までにはやらなければいけないと思います。

今回は1年のね、暫定的な一部改正であるから、それはもう情勢を見てるんだろうと思いますが、そういう面から思えばですね、やはりこの市民負担というのも考え方2つあると思うの

で、その負担を還付で完全にね、市民に対してお返しできるような形ですね、取り方。

よく言われますが、子育てのためのですね、給付金がありますよね。あれをお年寄りの方はどんどんもういいじゃないかて、先のためにつてね、いうふうなことと同じような考えだと思ふんですよ。

やはりそういう観点から、やっぱり大きな視点からも、市の本体の視点からですね、十分今から論議を尽くして、もうあと2年ぐらいしかありませんのでですね、この間に十分な論議をしてですね、固定資産税の問題を決定していただきたいと思います。今回の改正はですね、時勢を見たということですね、評価をしておきたいというふうに思いますが、希望としてはですね、ぜひそういう面、両方の面から議論を尽くしていただきたいなというふうに思います。固定資産税の件に関してはですね。

委員長、以上です。済みません。意見が多くなりましたが。

○委員長（福嶋安徳君） はいはい。

では、ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） はい。以上で質疑を終了いたします。

意見がありましたら、お願いします。

○委員（橋本幸一君） よろしいですか。

○委員長（福嶋安徳君） はい、橋本委員。

○委員（橋本幸一君） 今先ほど上村委員も言いましたが、これからやっぱり税収をいかに図っていくかということを、やっぱ収入の部分ですね。それを含めば固定資産税というのは重要な財源になるわけですが、ほかの財源に含めても、例えば、26年度の今結局予算そろそろもう入るわけですが、マイナス3%というような前年対比の一律というようなこと、それもわかりますが、結局、総務部としては一律のほうが非常にやりやすいわけですが。

例えばですね、将来、税収を生む、例えば、農林関係、商工関係のいろんな補助事業関係ですね、国・県の、その辺ですね、予算については、やっぱりマイナス3じゃなくてから、投資するような、やっぱそういう予算の組み方ですね、これからして、将来税収につながるような、そういうことも含めてですね、考えていてもらいたい。これはもう固定資産税だけじゃなくて、これから税収をいかに図っていくかということでやっていただきたい。これはもう希望します。

○委員長（福嶋安徳君） はい。重々執行部も検討いただきたいと思います。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） ないようでございます。これより採決します。

議案第143号・八代市市税条例の一部改正については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福嶋安徳君） 挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。（「ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

◎陳情第9号・八代地域公共交通における一般乗用旅客自動車運送事業の活用推進について

○委員長（福嶋安徳君） はい。それでは、次に、請願・陳情の審査に入ります。

審査に入ります前に、郵送や持参にて届いております要望書については、写しをお手元に配付しておりますので、御一読いただければと存じます。

今回、当委員会に付託となっておりますものは、陳情1件です。

それでは、陳情第9号・八代地域公共交通における一般乗用旅客自動車運送事業の活用推進についてを議題とします。

要旨は文書表のとおりですが、念のため書記に朗読いたさせます。

○書記（増田智郁君）（書記、朗読）

○委員長（福嶋安徳君） はい。本件について御意見ありませんか。

○委員（橋本幸一君） 委員長。

○委員長（福嶋安徳君） 橋本委員。

○委員（橋本幸一君） この件について議会のほうにも陳情がなされておりまして、これを出された業界の方の話によりますと、これまでの体系っていうのは、もう上からそのままタクシー業界の皆さんには——乗り合いタクシー等も含めて、おろされてきたと。地域交通を担うタクシー業界の人たちも、地域のために何が必要かということ提言できるような場を設けてほしいという、やっぱそういう趣旨でございますので、これはもう早急にですね、やっぱりこの業界の皆さんの意見も取り入れた本市における公共交通機関のあり方を考えていかなければならないと私もそう感じております。

だから、ぜひですね、これについては採択していただきたいというのが私の希望でございます。

○委員長（福嶋安徳君） ほかに御意見ありませんか。

○委員（鈴木田幸一君） よかですかね。

○委員長（福嶋安徳君） はい、鈴木田委員。

○委員（鈴木田幸一君） はい。この形態というのを今考えたときですね、今、議長申されましたように、今、議長の説明があつて初めて私たちは、ああ、内容が少し詳しく知ることができるなっていうふうに感じるわけなんですよ。そういった意味からもですね、やっぱもしこういった検討委員会ちゅうとをつくる場合はですね、議会のほうからも代表あるいは顧問とかいろんな形でですね、参加していただきながら、八代市全体のこういった交通機関を検討する助言者、議会へのほうも代表者があつたらもっと

いいかなちゅうふう感じたわけなんですけれども。

以上です。

○委員長（福嶋安徳君） はい。

○委員（上村哲三君） はい。

○委員長（福嶋安徳君） はい、上村委員。

○委員（上村哲三君） 追い打ちをかけるように申しわけないですが、今まで行われてきたですね、この地域交通体系の見直しちゅうのがですね、当時、補助金ばかりふえる形であったのを、もうちょっと時勢に沿った、特に山間周辺部の問題ですね、乗り合いタクシー事業が始まるまでにですね、いろんな意見が交わされてきた中でのことだろうというふうに思います。

しかしながら、現状を見てですね、恐らく危機感を持ってらっしゃると思います、この協会の人たちが。それは何かというたらですね、予想以上に高齢化は進んでいるということをよく聞きます。この協会の方と1回話したことありますけどね、高齢化が進んでね、乗り合いタクシー事業自体もこのままでいいのかという時期に来ていると。そういう面がね、なかなか行政で主導する場合にはフィードバックされずにうまく、まだ改善の余地があるのに、なかなか素直になされていかない部分があるんじゃないかというふうなことを聞いておりますし、本当に地元の意見が反映されないから毎年見直しがあつてですね、議員さんたちも、地元の議員さんたちは苦勞されながら意見具申をしながらですね、少しずつ見直しはあつていると。

しかし、これをもうちょっとメンバーとかですね、いろんな意見聞く場をね、広めていったら、もうちょっと早くね、実情に即した、また5年後、10年後に対応できるね、この交通体系の見直しやら、高齢者あたりへの配慮というのがね、できていくんじゃないかというふうな気がしますのでですね、ぜひこの場はですね、こういう場をね、しっかり組織を見つめ直

していただいでですね、内容を、そして機会を多くして広げていただいでですね、時勢に沿う、今から将来に向けた交通体系の、八代管内の交通体系のね、有効な見直しができるばというふうに思いますので、この陳情書にはですね、採択に賛成をしたいというふうに思います。

○委員長（福島安徳君） はい。ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福島安徳君） ないようございませう。それでは、これより採決いたします。

陳情第9号・八代地域公共交通における一般乗用旅客自動車運送事業の活用推進については、採択と決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（福島安徳君） 挙手全員と認め、本件は採択とすることに決しました。

お諮りいたします。

ただいま採択と決しました陳情1件については、市長に送付の上、その処理の経過並びに結果について報告を求めることにいたしたいが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福島安徳君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、請願・陳情の審査を終わります。

以上で、付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福島安徳君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

◎所管事務調査

・行財政の運営に関する諸問題の調査

・総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査

○委員長（福島安徳君） 次に、当委員会の所管事務調査2件を一括議題とし、調査を進めます。

当委員会の所管事務調査は、行財政の運営に関する諸問題の調査、総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査、以上の2件です。

当委員会の所管事務調査について何かありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福島安徳君） 以上で、所管事務調査2件についての調査を終了します。

次に、閉会中の継続審査及び調査の件についてお諮りいたします。

所管事務調査2件については、なお調査を要すると思いますので、引き続き、閉会中の継続調査の申し出をいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福島安徳君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

しばらく小会します。

（午後0時07分 小会）

（午後0時12分 本会）

○委員長（福島安徳君） はい。本会に戻します。

次に、当委員会の派遣承認要求の件についてお諮りいたします。

当委員会は、平成26年1月15日から17までの3日間、行財政の運営に関する諸問題の調査、総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査のため、埼玉県草加市、埼玉県さいたま市、東京都墨田区へ行政視察に参ります。このことについて、議長宛て、派遣承認要求の手続をとらせていただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（福嶋安徳君） 御異議なしと認め、
そのように決しました。

以上で、本日の委員会の日程は全て終了いたしました。

これをもって、総務委員会を散会いたします。

（午後0時13分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成25年12月12日

総務委員会

委員長